

# コーポレート・ガバナンス

## 取締役会議長メッセージ

経営環境の変化に伴い、取締役会の議題は年々多様化しています。取締役会は中長期的な方向性の監督、戦略の軌道修正などの重要な機能を持っており、その中で議長の役割は経営の透明性を確保し企業価値向上につなげることでと考えています。

本会では執行者と社外取締役の情報格差をなくすとともに、昨年は新たな中期経営計画策定にあたり、社員が共通の方向性を持って進むための成長戦略、投資家や社会からの要請にどう応えていくかなどの様々な経営課題について活発かつ緊張感ある議論を行いました。本会の実効性を高めることで持続的な成長と進化を実現し、皆様のご期待に応えてまいります。



取締役会長  
辻 範明

## 取締役会での議論の要素別例

### キーワード

資本効率	ROE	株主還元	成長戦略
------	-----	------	------

- 目指すべきROEの数字を積極的に開示し、資本効率の高い経営を目指すことを投資家に対して発信するべきである。また、株主還元についても充実させていくべきではないか。
- 業界動向や世界情勢の先行きが不透明な中で、市場に真摯に向き合ったうえで経営資源をどう活用するか、成長戦略についての議論も併せて行い、新たな中期経営計画で打ち出していく。

### キーワード

人的資本	人事制度	企業風土	人材多様性
------	------	------	-------

- 人的資本の拡充に向けて。教育面だけでなく、社員が新たな事業や業務にチャレンジする風土を作っていく動きが必要ではないか。
- いろいろ取組んできた結果、教育や啓蒙だけでは限界がある。キャリア採用も多く受け入れ、人材の多様性を確保することでイノベーションが生まれやすくなる環境を作っていくしかないのではないか。
- 他方、新規事業等で公募した際、手を上げる社員も出てきている。例えば社内ベンチャー制度の新設など、人的資本拡充に向けた施策について積極的に動くタイミングに来ている。

### キーワード

資本配分	研究開発	生産性向上	外部連携
------	------	-------	------

- 不確実性の高い時代において今後どのような領域に人材配置をしていくか、研究開発投資をどうするか検討が必要ではないか。
- 人材を確保し育成することも大事だが、同業他社のみならず外部との協業をすることが時代の流れとなっている。もはや日本の業界内だけで競争をしている時代ではない。
- 各社共通の技術で、建設業全体の生産性を上げることが念頭に経営資源の分配の最適化を図ることも考えていく必要がある。

## 取締役会の頻出ワード

